



宝仙学園小学校
ホームページ



公式 LINE
学校説明会やイベントの
情報をお届けします



Instagram
Hosen Diary
宝仙日記へようこそ!
日常の様子をご紹介します



Instagram
Art Gallery
図工室より発信!
活動の様子や作品をご紹介します

品格と知性を 兼ね備えた人を造る

学園創立100周年を2年後の2028年に迎える本校は、
建学の精神である「仏教精神を基調とした人間教育によって、
品格と知性を兼ね備えた人を造る」という創立者の精神を今も大切にしています。

技術革新が目まぐるしく変化し、多くの情報が溢れている現代社会において、
自律心をもち、慈悲深く、心豊かな人格を養育することは見直されているのではないでしょうか。

そのような精神を大切にしながらも、子どもたちが教育の主体であることを中心に据えて、
常に時代の流れをくみ取り、教育環境の革新や、探究などの教育内容の研究を積極的に行っています。

伝統を守りながらも、未来を創造していく子どもたちを大切に、
進化し続ける努力を、宝仙学園小学校は行っています。

仏教を基調に
した教育

品格 知性



教育方針

自ら学び チャレンジと共創から 未来をつむぐ

ディプロマポリシー

自ら学ぶ人に

「学び」は他者に強制されてするものでなく、自分のために行うもの。
子どもたち(学習者)が学ぶ意図を受け止め、主体的に取り組み、
ものごとを深く考え判断し、自分で決めたことを最後までやり抜く責任感を育みます。

ともに学ぶ人に

自分とは異なる、多様性をもつ他者と共に学んでいくために、自分の考えをもち、
それを的確に表現・伝える力がまず大切です。
様々な価値観を受け入れる広い視野と傾聴できる心をもち、
意見が異なる場合でも「納得解」を作り上げる調整能力を育みます。

学びを未来につなげる人に

未だ来ていない予測不可能な時代=「未来」を生き抜くためには、
様々な情報処理を行い、それを分析し、自分で課題を見出して、
切り拓くアイデアとチャレンジする力が大切になります。
リアルな社会と結びつけ、問題を発見して自分で課題を設定し、
好奇心・批判的思考で「問い」をもち、様々なツールを活用して
解決策を創り出す能力を育みます。

自ら
学ぶ人に
学びの責任能力

ともに
学ぶ人に
協働的活動能力

学びを未来に
つなげる人に
課題設定
問題解決能力



学びのイメージ

仏教と伝統に支えられながら
未来を見据えた教育に
宝仙学園小学校はチャレンジし続けます



学園創立 100周に向けて

小中高大の
児童・生徒・学生が
学び・交流できる特別棟を
建設中です。(P.12)



自ら学ぶ 基礎・基本

生活と学習のよりよい習慣化

生活と学習のよりよい習慣化を低学年のうちから育み、
実体験を伴う学習活動と、個々の知的好奇心、
興味・関心を引き出す教育を行っています。



主体的に学ぶ
集中して取り組む学習・行事

進学サポート

未来の選択を支える



体験学習
「成すことによって学ぶ」

共に学ぶ

グループ活動

関係性を育む取り組み

友達と協力して学習したりプロジェクトに取り組んだりする機会が様々あり、
一人ではできない達成感につながります。
また、異学年交流活動によって「思いやりの心」も育まれます。



異学年交流活動



クラブ活動



委員会活動



デジタルデバイス を活用

BYOD(Bring Your Own Device)という
1人1台個人持ちで、全学年・全教科で
活用しています

1人1台
iPad BYOD

学びを未来に続ける

全学年で 進める探究

「創造探究」で育まれる力

- ▶ 自分をみつめる
- ▶ 他者と共に高めあう
- ▶ 学びを深掘りする

個人探究

プロジェクト型
学習



卒業研究



プロジェクト型学習

外部連携



放課後活動



学びのサポート

子どもたちが自らの未来に向かって主体的に成長していけるよう、様々な側面から支える教育環境があります。卒業後の様々な中学への選択肢があり、それに合わせた学習ができるシステムと進路サポートがあります。

教科担任制

専門知識を持った教員が、理科・社会・音楽・図工・家庭科・体育・英語を指導。5年生からは国語・算数も教科担任制となり、より深く質の高い授業を展開します。



移行学習

各学年で指導内容を精選し、次の学年の内容を前倒して移行。6年生の1学期には全学習内容を修了させ、発展的な学習や中学受験演習に充てる時間を確保します。

公立の指導計画



本校の指導計画



宝仙の基礎・基本

学習面と生活面の結びつきをとても大切にしています。低学年から丁寧な学習・生活指導を行い、習慣化し基礎学力を身につけていくことで、主体的な学習者として育ち、その後の協働的な活動、発展的な取り組みに結びつけていきます。

習熟度別授業

- 5年生からの特別授業開始
週2回「特別国語」「特別算数」の授業が始まります。
- 学級の枠を超えたクラス編成
習熟度別にクラスを分けた、きめ細やかな指導を展開。

オリジナル教材

国語・算数・社会など。本校の学習進度や難易度の多様性に対応したオリジナルの参考書や問題集、ワークブックを作成して使用しています。



宝仙Nobiruba

2022年開校の放課後学習教室「宝仙Nobiruba」は、1年生から個別進度学習である「基礎コース」を受講することができます。3年生からは「中学受験コース」で中学受験に向けた発展的な学習をすることができます。

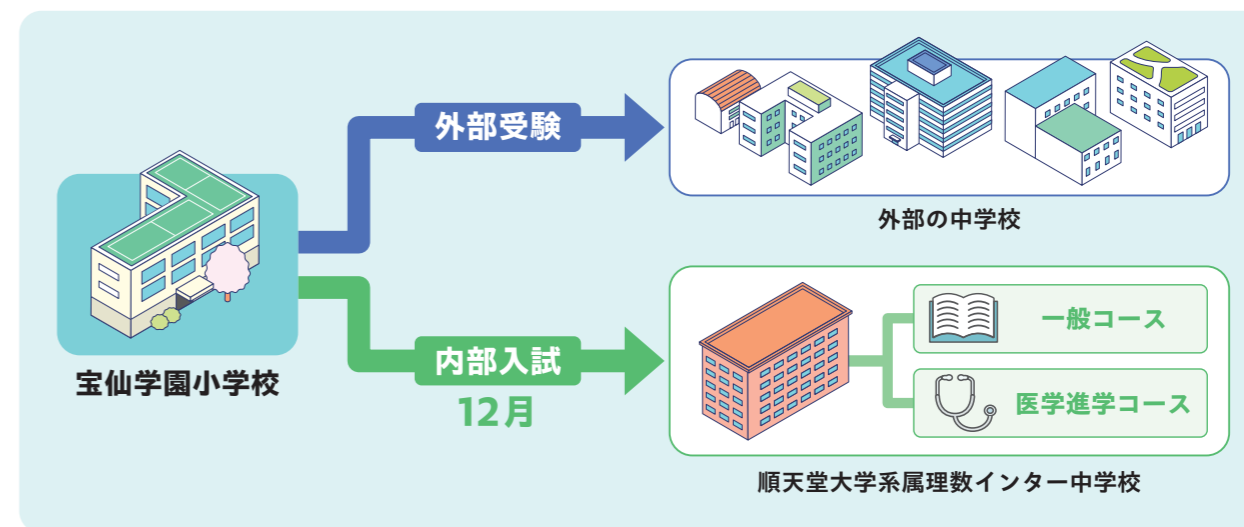


e-Learning

ICT機器を用いた学習「e-Learning」を、様々な場面で活用しています。記憶定着を目的とした「Monoxer」で覚えたり、それぞれが作った学習クイズを「Kahoot!」で楽しんだりしています。



進学イメージ



自分の未来への選択肢として「中学入試」にチャレンジします。本校独自のカリキュラムにてサポートを行い、中学へと進学していきます。

合格校一覧はこちら
ホームページにて



6年間の学び

1年生～6年生まで、本校独自のカリキュラムのもと、日頃の学びの中で培い
経験を積み上げながら、互いに支え合い励まし合う友人と共に成長していきます。

アドミッションポリシー

- 「自分のことは自分でできる子」
- 「友達と協力できる子」
- 「よく考えていっしょうけんめいとくむ子」

カリキュラムポリシー

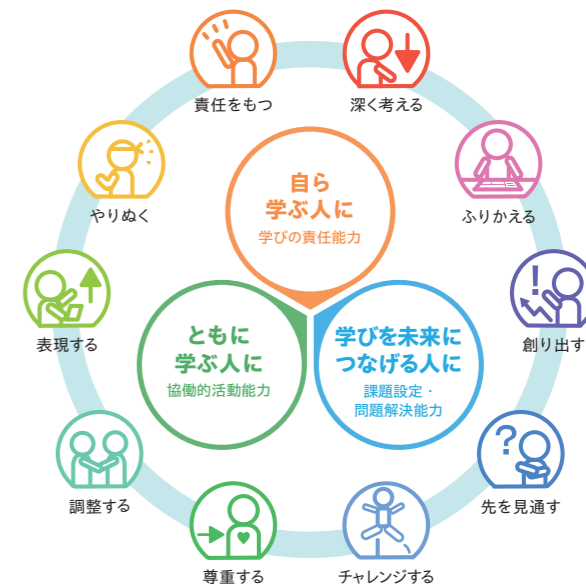
- 「進んで学び抜く能力」の育成
- 「他者から学び、自他を生かす能力」の育成
- 「リアルな問いを立て、ツールを活用し、答えを作り出す能力」の育成

ディプロマポリシー

- 「自ら学ぶ人」(学びの責任能力)
- 「ともに学ぶ人」(協働的活動能力)
- 「学びを未来につなげる人」(課題設定・問題解決能力)

キーコンピテンシー10

「ディプロマポリシー」を目指して、6年間で育てていきたい
資質・能力を10の項目に視覚化したのが
「キーコンピテンシー10」です。
様々な授業・教育活動に含まれ、育まれます。



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生



情操	基本的な生活習慣を育む		他者とのつながりを大切にする		上級生としての自覚をもつ	
学力	きめ細やかな学習指導		専科教師による教科指導の充実		発展・演習的な学習プログラム/進学指導	
学年目標	いのちを大切に、元気に学び、友達と楽しく過ごす	自分の思いを伝え、友達と関わりながら、進んで取り組む	自ら考え、役割を果たし、最後までやり抜こうとする	違いを認め合い、協力しながらより良い学びを創ろうとする	自ら課題を見つけ、仲間とともに挑戦し、成長し続ける	品格と知性を備え、自ら判断し、未来を切り拓こうとする
教科担任制	英語・音楽・体育・図画工作		理科・社会		家庭科	
移行学習	1年		2年		3年	
	4年		5年		6年	
					発展学習・問題	





入学式 1年生の晴れ舞台。みんなドキドキしながら会場に入ります。6年生が学校の様子をプレゼンテーションで紹介します。



運動会 運動会は、子どもたちが大好きな行事です。全力で取り組み、全力で応援します。みんなの気持ちがひとつになる日です。



みたま祭り ご先祖様のみたまをお迎えて供養するみたま祭りは、ゆかた姿で行います。おがらを焚いて盆踊りを楽しんだ後は、提灯にあかりを灯して帰ります。



けん玉大会 全校で行うけん玉大会は本校独自の行事です。「もしかめ」10分間を目指して日々練習に取り組んでいます。この行事で培った集中力は様々な場面で活かされるでしょう。



スキースクール 3～6年生の希望者を対象に志賀高原にて行います。インストラクターの指導のもと、大自然の中、スキーを満喫できる行事です。

委員会活動

「委員会活動」は5、6年生が学校のために自分たちができることを進めていく活動です。日々の放送や本の貸し出しを行う委員会もあれば、学校環境改善のためにプロジェクトにて企画を考えて実施することもあります。

- 児童委員会
 - 図書委員会
 - 体育委員会
 - 放送委員会
 - グリーンプロジェクト
 - 掲示美化委員会
 - 保健委員会
 - ICT委員会
 - 広報委員会
- (2025年度)

クラブ活動

クラブ活動には授業の一環である「必修クラブ」と課外活動としての「希望制クラブ」があります。

- ソフトボール
 - バasketボール
 - 卓球
 - アウトドア
 - 家庭科
 - アート
 - 理科
 - 剣道
 - ダンス
 - ボードゲーム
 - 百人一首
 - 合唱
 - 模型
 - サッカー
 - 音楽
 - プロジェクションマッピング
 - 演劇
 - 朝ランニング
 - 剣道(朝クラブ)
 - (●希望制 朝クラブ)
- (2025年度)



宝仙学園小学校の 行事

校外学習、仏教行事、体育行事、文化行事などでは、日常的な学びを活かし、友達との関わりを深め思いやりの心を養うなど、体験を通して培われる多くの学びがあります。



宝仙祭 宝仙祭とは、幼稚園から大学までがいっしょに行う学園祭です。児童作品展やゲームコーナー、子どもの発表会、父母会企画などがあります。



写生会 それぞれの学年に合わせた場所に行って写生をします。屋外でゆったりと絵を描く活動は、感性を育む豊かな時間です。



夏季学校 2年生から宿泊学習を実施し、自然体験や協働的な活動を実施しています。3・4年生は異学年合同の宿泊、5年生は現地の方と一緒にグループ活動を行います。

学園創立 100周年に向けて

正路校長
×
富田理事長補佐
対談

創立100周年に向けて飛躍する、小中高の連携強化で、 深化する「チャレンジと共創」

富田理事長補佐 2028年に創立100周年を迎えるにあたり、記念事業として新校舎『宝仙百年館 The Terrace(テラス)』の建設が進んでいます。幼小中高大の5部門が連携する、いわば学園の顔ともなる校舎であり、幼小中高大の園児、児童、生徒、学生が集い、刺激し合える場をコンセプトとして計画が進められました。

正路校長 新校舎は、授業での活用はもちろん、異学年交流や他部門とのコラボレーションが生まれることをコンセプトとしてお聞きした時、時代に合わせた新しい教育活動ができる場になっていくのだろうと、ワクワクしたことを覚えています。

富田理事長補佐 おっしゃる通り、異学年交流がひとつの大きなテーマになるのではないかと思います。年齢の違う児童や生徒が同じ環境で活動することで、例えば小さな子たちは「お兄さんお姉さんたちは何をやっているんだろう」という興味を抱き、高校生たちは「下の学年の子たちがいるから通路を譲ってあげよう」といった配慮や思いやりの気持ちを持つようになる。つまり学園の中に小さな社会が形成されていくわけですね。

正路校長 同じ場所にいることがよりよい学習環境につながっていくいろいろなプログラムの構想を練っているところです。すでに小学校高学年の児童が中高の授業を体験する取り組みがスタートしていますが、次の100周年へつながるような部門間交流や相互理解が進んでいけば、より宝仙学園の強みとなっていくに違いありません。

中高授業体験の対象となる学年を広げ、教員同士と一緒に学ぶ機会をつくるなど、子ども大人も含めた交流が活発化していくことで、さらに創造的な活動が芽吹いていくのではないのでしょうか。交流が深まることによって、本学園が大事にしている「内面からにじみ出る品格や知性」が醸成されていくのではないかと考えています。

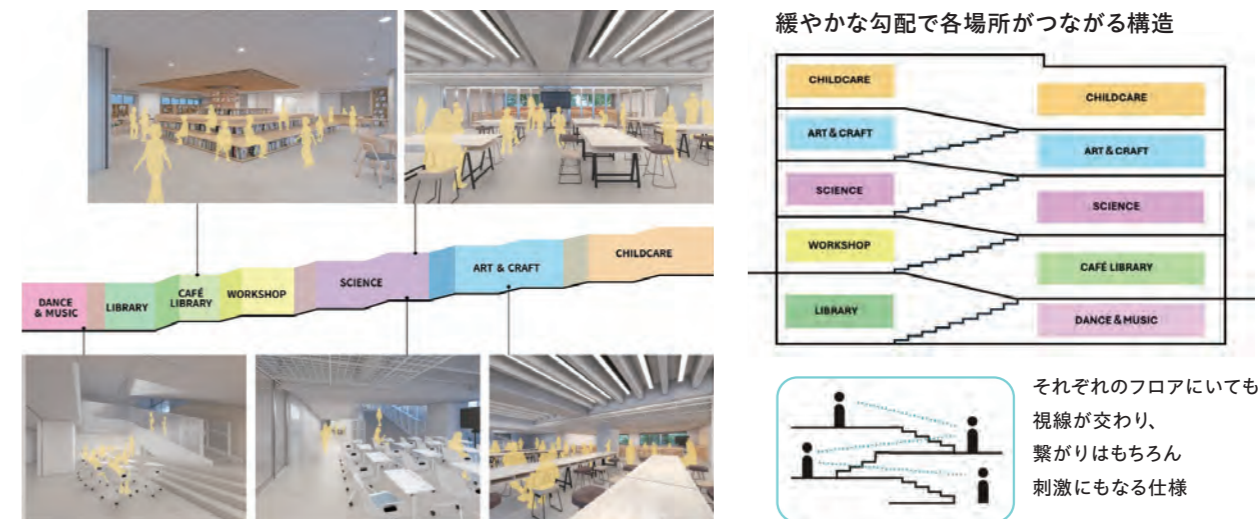
富田理事長補佐 たとえば勉強やスポーツに向かう時、気持ちにゆとりがないと自分が本来持つ力を充分発揮することができません。そこで役に立つのが仏教の思想です。私は月1回小学校の朝礼で講話をさせていただいていますが、大切にしているのは「児童の皆さんはこの学校で安心していろいろな活動をやっているんですよ」と伝えること。時代は今一度、気持ちや心の在り方を考えるタイミングに来ているという思いもあります。仏教を基調にした教育は、これからも学園のベースであり続けます。

正路校長 『The Terrace』はもちろん、ICTツールなども上手に活用しつつ、子どもたちの「もっと知りたい」「もっとやってみよう」という気持ちを育み、実体験できる機会を増やすことで、子どもたちの将来の可能性や選択肢が広がるような取り組みを進めていければと思います。宝仙学園の核は変わりません。そこに革新を掛け合わせることで、より伝統が強くなっていく。そんなイメージを子どもたちや保護者の皆さまと共有していければうれいですね。



宝仙百年館 The Terrace

100周年事業の中心は、小学校と中学・高等学校及び大学が学びの空間を共有する『宝仙百年館 The Terrace(テラス)』の建設です。特別教室をフロアごとにまとめ、サイエンスエリア、アート&クラフトエリア、ダンス&ミュージックエリアとして、異学年が混じりあうフレキシブルでオープンな学びの場を創造します。



好奇心から始まる、未来をつむぐ学び

宝仙学園小学校は、自ら学び、そして共に学ぶ学校です。仏教的な落ち着いた環境の中で、子どもたちの「もっとやりたい」「もっと知りたい」という内側から湧き上がる意欲を育み、自ら問いを見つけ、挑戦する姿を大切にしています。うまくいかないことがあっても、試行錯誤を重ね、最後までやり抜く。その積み重ねの中で身につけた力こそが確かな力となり、未来を拓く土台となります。私たちは、「考える力」と「協働する力」を育み、自ら高めながら他者を大切にできる、品格と知性を兼ね備えた人の育成を目指しています。



宝仙学園小学校
校長 正路 進



正路校長

富田
理事長補佐

